

学ぶ人は、  
変えて  
ゆく人だ。



第68回

# 全国学芸サイエンス コンクール

応募要項

得意なジャンルでチャレンジ！

小学生・中学生・高校生 作品募集中！

理科自由研究部門

自然科学研究部門

社会科自由研究部門

人文社会科学研究部門

絵画部門

書道部門

小説部門

詩部門

読書感想文部門

作文／小論文部門

写真部門

ポスター／デザイン部門

特別企画 スタートアップ部門

応募者全員に  
参加賞を  
プレゼント！



ホームページは  
こちらから

応募しめきり 2024年9月24日 火曜日 当日消印有効

<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

主催 旺文社 後援 文部科学省・環境省・こども家庭庁(予定)

特別協賛 フジテレビジョン・日本英語検定協会・大日本印刷(予定)

特別協力 全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会

日本科学技術振興財団／日本芸術院／早稲田大学／慶應義塾／共同通信社／旺文社ベンチャーズ

協賛

岩岡印刷／大塚商会／大林組／カシオ計算機／旭洋／三省堂印刷／システムシンク／シロキ／新生紙パルプ商事／

高尾丸王製紙／中越パルプ工業／TOPPANクローレ／日新印刷／日本紙通商／日本生涯学習総合研究所／日本書道教育学会／

日本製紙／パイロットコーポレーション／北越コーポレーション／みずほ銀行／ロジテムエージェンシー／(予定)



# 全国学芸サイエンスコンクールについて

旺文社主催／文部科学省・環境省・こども家庭庁後援「全国学芸サイエンスコンクール」は、全国の小学生・中学生・高校生の研究・アートおよび文芸の振興奨励と、その個性の育成を目的に、各界各方面からご賛同とご支援をいただき、昭和32年（1957年）の第1回開催以来毎年実施しているもので、今年度で第68回を迎えます。日本全国はもとより海外の学校からも多くのご参加をいただき、昨年度は8万点を超える作品が寄せられました。

今年度はサイエンスジャンル（理科系・社会科系の各研究分野）と学芸ジャンル（アート・文芸Ⅰ・文芸Ⅱ・環境の各分野）の2つのジャンルに加えて、特別企画として

「スタートアップ部門」を新設し全13部門で作品を募集いたします。幅広く多様な分野に多くの部門を設け、児童生徒のみなさんがそれぞれの得意分野で制作した作品をご応募いただける総合コンクールとなっています。

優秀作品には、内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・環境大臣賞・分野賞のほか、協賛協力企業・団体より各種の賞が授与されます。

「青少年の感性を高め、創造力を伸ばす」というコンクールの教育的意義にぜひご賛同いただき、夏休みの創作活動をはじめ日々の学習成果の発表の場として、積極的なご応募を心よりお待ちしております。

## 募集部門一覧

募集部門		小学生の部	中学生の部	高校生の部	応募要項
サイエンスジャンル	サイエンス分野				
	① 理科自由研究部門	● ※小学4年生以上	●	—	P4
	② 自然科学研究部門	—	—	●	P4
	③ 社会科自由研究部門	● ※小学4年生以上	●	—	P5
	④ 人文社会科学研究部門	—	—	●	P5
学芸ジャンル	アート分野				
	⑤ 絵画部門	●	●	●	P5
	⑥ 書道部門	●	●	●	P5
	文芸Ⅰ分野				
	⑦ 小説部門	—	●	●	P6
	⑧ 詩部門	●	●	●	P6
	文芸Ⅱ分野				
	⑨ 読書感想文部門	●	●	●	P6
	⑩ 作文／小論文部門	● ※作文での応募	● ※作文での応募	● ※小論文での応募	P7
	環境分野				
	⑪ 写真部門	●	●	●	P7
	⑫ ポスター／デザイン部門	●	●	●	P7
特別企画	スタートアップ部門	● ※小学4年生以上	●	●	P7

# 賞について (賞は変わる場合があります。)



内閣総理大臣賞 賞杯

## 内閣総理大臣賞 (1点)

賞状・賞杯・楯・記念品・旺文社教育奨学金30万円  
全作品中の最優秀作品に授与

## 文部科学大臣賞 (6点)

[サイエンスジャンル(3点) 学芸ジャンル(3点)]  
賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金10万円  
各ジャンルの小・中・高校生の部、各部の最優秀作品に授与

## 環境大臣賞 (1点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金10万円  
環境分野全部門の最優秀作品に授与

## 分野賞 (5点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金5万円  
5分野の最優秀作品に授与

- \* サイエンス分野：日本科学技術振興財団理事長賞
- \* アート分野：日本芸術院長賞
- \* 文芸Ⅰ分野：早稲田大学総長賞
- \* 文芸Ⅱ分野：慶應義塾長賞
- \* 環境分野：共同通信社社長賞

## 学校特別奨励賞

(各部門1校 全12校)

表彰状・楯・図書カード3万円分  
サイエンス分野・アート分野・文芸Ⅰ分野/文芸Ⅱ分野・  
環境分野の各部門で優秀な作品を応募した学校に授与  
フジテレビ学校特別奨励賞・大日本印刷学校特別奨励賞  
日本英語検定協会学校特別奨励賞

## 部門賞金賞

(小・中・高校生各部、各部門1点 全16点)

賞状・記念品・図書カード1万円分(特別賞受賞者を除く)  
小・中・高校生各部、各部門の最優秀作品に授与

## 審査委員特別奨励賞

(全4点)

賞状・記念品・図書カード1万円分  
理科自由研究の部門賞金賞に準じる優秀作品に授与

## 旺文社赤尾好夫記念賞

(全377点)

賞状・記念品  
各部・各部門の金・銀・銅賞と、入選者に授与

## 読書感想文部門努力賞 (全51点)

賞状・記念品(各部の読書感想文部門で入選に準じた優秀作品に授与)

## 理科自由研究部門努力賞 (全34点)

賞状・記念品(各部の理科自由研究部門で入選に準じた優秀作品に授与)

## 学校奨励賞

表彰状(各部門で応募数の多かった学校に授与)

## 特別企画 スタートアップ部門

### 旺文社ベンチャーズ大賞 (1点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金5万円

### 金賞 (小・中・高校生 各部1点)

賞状・楯・記念品・図書カード1万円分

### 銀賞 (小・中・高校生 各部1点)

賞状・楯・記念品

### 銅賞 (小・中・高校生 各部1点)

賞状・楯・記念品

## 参加賞 (2025年2月下旬～3月上旬頃の発送予定)

コンクールに参加してくださった方全員に、参加賞を差し上げます。

※個人応募の方でも参加賞は学校経由でお届けします。あらかじめ担当の先生などにお話をしておいてください。

※塾応募の場合は、塾経由でお届けします。

※参加賞は作品を何点応募されてもお一人様一つとさせていただきます。



第67回参加賞

※第68回の参加賞は未定です。





# 第68回全国学芸サイエンスコンクール 応募要項

## 全分野共通

- 同一部門での応募は1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したのものや、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。  
※第68回より都道府県規模のコンクールに応募した作品も応募可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。  
※破損した場合、当コンクールでは責任は負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。(発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。)

## サイエンス分野

※上記の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学4年生～高校3年生対象。
- 上記の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- グループなど共同制作した作品の応募も可。グループ応募の場合は、作品の巻末に**グループ名**と**制作者全員の名前**、**指導した先生名**を明記し、応募用紙・応募票の名前の欄に**グループ名**と制作に携わった**人数**を記入。
- レポート用紙を使用した場合は、**必ずページ番号をふる**。パソコン入力などのプリントアウトも同様。
- 規定枚数に足りない作品は、選外となる場合がある。
- 『継続研究』について  
Part 2、Part 3などの継続研究を応募する場合は、作品の1ページ目に Part ごとの研究成果や発展内容を簡潔にまとめること。また、コンクール受賞歴がある場合は、受賞したパートに「○○コンクール 西暦何年受賞」と記載のこと。

### ① 理科自由研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 ※小学4年生以上 中学生の部

- **テーマ** → 自由。
- **内容** → 理科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。  
参考文献を明記すること。
- **枚数** → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。  
パソコン入力の場合は、**フォントサイズは10.5ポイント以上とする**。枚数は規定なし。  
小学生は模造紙・画用紙使用も可。

### ② 自然科学研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

高校生の部

- **テーマ** → 自由。
- **内容** → 物理・化学・生物・地学などの理系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。  
資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- **文字数** → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。  
パソコン入力の場合は、**フォントサイズは10.5ポイント以上とする**。文字数は8,000字以上。  
本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。

### ③ 社会科自由研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 ※小学4年生以上 中学生の部

- テーマ → 自由。
- 内容 → 社会科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- 枚数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。  
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。枚数は規定なし。  
小学生は模造紙・画用紙使用も可。

### ④ 人文社会科学部

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

高校生の部

- テーマ → 自由。
- 内容 → 地理・歴史・現代社会・文学などの文系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- 文字数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。  
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。文字数は8,000字以上。  
本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。

## アート分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。
- P.4の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- 個人作品に限る。

### ⑤ 絵画部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- テーマ/素材 → 自由。
- サイズ → 四つ切り (380mm×540mm) 以上～50号 (1,167mm×910mm) 以内。  
※規定より小さい作品を規定サイズの紙に貼るなどした場合は、選外となる。
- その他 → 立体作品は不可。また、立体物や破損しやすいものを貼り付けた作品も選外となる。

### ⑥ 書道部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 中学生の部

- 文字・書体 → 自由 (学年に合ったものを選ぶこと)。
- サイズ → 半紙または画仙紙半折の1/4 (約340mm×350mm) を使用。
- 文字数 → 小学1～3年は2字以内。/小学4～6年は6字以内。/中学生は6字以内。
- その他 → 学年・名前を書き入れること。

高校生の部

- 文字・書体 → 自由題で、書体・書式は自由。
- サイズ → 画仙紙半切大 (約1,350mm×350mm) または画仙紙<sup>れん</sup>聯落ちを上方向から580mmに切ったもの (約580mm×530mm) を使用。  
半紙は不可。
- その他 → 作品の読み方を応募票に必ず明記すること。仮表装の必要なし。



# 文芸Ⅰ分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。(小説部門のみ中学1年生～高校3年生対象)
- P.4の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- 個人作品に限る。
- 書き出しに題名・名前を明記すること。原稿用紙には必ずページ番号をふる。パソコンなどで作成し、プリントアウト(1ページ400字詰め)した作品にも、必ずページ番号をふること。
- 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- 規定枚数を越えた作品は、選外となる。

## ⑦ 小説部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

中学生の部 高校生の部

- テーマ → 自由。
- 枚数 → 400字詰原稿用紙10枚から80枚以内で、タテ書きとする。パソコンを使用する場合には1枚を400字詰めとすること。
- その他 → 原稿用紙1枚程度に※「あらすじ」をまとめ、作品の冒頭に必ず添付する。なお、「あらすじ」は規定枚数には含まれないため、ページ番号はふらないこと。※「あらすじ」がない場合は、選外となる。

## ⑧ 詩部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- テーマ → 自由。
- その他 → 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。パソコン入力可。

# 文芸Ⅱ分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。
- P.4の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- 個人作品に限る。
- 書き出しに題名・名前を明記すること。原稿用紙には必ずページ番号をふる。パソコンなどで作成し、プリントアウト(1ページ400字詰め)した作品にも、必ずページ番号をふること。
- 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- 規定枚数を越えた作品は、選外となる。

## ⑨ 読書感想文部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- 書籍 → 自由。
- 枚数 → 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。(パソコン入力可)  
▶ 小学1～4年生 2～3枚 ▶ 小学5・6年生 3～4枚 ▶ 中学生・高校生 4～5枚
- 書き出し → 1行目はタイトル、2行目は名前、3行目から本文スタート。
- その他 → 応募票に、書名・著者名・出版社名を明記すること。

## ⑩ 作文／小論文部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

小学生の部 中学生の部 作文での応募となる。 高校生の部 小論文での応募となる。

- テーマ → 自由。
- その他 → 高校生の小論文は自分の意見や判断・推論などを述べたもの。  
参考文献を明記すること(規定枚数には含まれない)。
- 枚数 → 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。(パソコン入力可)  
▶ 小学生 2～6枚 ▶ 中学生 4～10枚 ▶ 高校生 8～20枚

# 環境分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。
- P.4の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- 個人作品に限る。
- 環境問題をテーマにした作品に限る。
- 作品名は必ず応募票に明記すること。

## ⑪写真部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部   中学生の部   高校生の部

- **テーマ** → 環境問題をテーマにした作品に限る。  
(例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める写真に限る。
- **サイズ** → 六つ切り (203mm×254mm) 以上～四つ切り (254mm×305mm) 以内。デジタル写真は、規定サイズ範囲内の写真用光沢紙にプリントアウトしたものに限り。
- **その他** → 作品のタイトルを必ず応募票に明記する。カラー・モノクロのいずれでもよい。スマートフォン、デジタルカメラなど、静止画を撮影できるすべての機器で撮影した作品。画像の加工や合成\*など、修正した作品は不可。  
※合成とは、作品表現上、重要な要素になるような加筆や削除など二次的な画像加工処理を施すことを指す。軽度の明るさ、色の補正は合成には入らない。

## ⑫ポスター／デザイン部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部   中学生の部   高校生の部

### ポスター

- **テーマ** → 環境問題をテーマにした作品に限る。  
(例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める作品に限る。  
ポスターには、ふさわしい言葉やキャッチフレーズを入れること。また、キャッチフレーズと作品タイトルは同一にすること。
- **サイズ** → B3 (515mm×364mm) 以上～B全判 (1,085mm×765mm) 以内。

### デザイン

- **テーマ** → 環境問題をテーマにした絵柄・図案等を表現した作品に限る。  
(例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める作品に限る。壊れやすいものは不可。
- **サイズ** → B全判 (1,085mm×765mm) 以内。

# スタートアップ部門

小学生の部 ※小学4年生以上   中学生の部   高校生の部

- テーマ (小学生、中学生、高校生共通)
- ① 地域活性化ビジネス
- ② 社会・環境問題解決ビジネス
- ③ 未来の学校・教育ビジネス
- その他のテーマでのスタートアップアイデア

他部門と応募方法が異なりますので詳しくは「スタートアップ部門応募要項 (PDF) をご覧下さい。

<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/startup/>





# 第68回全国学芸サイエンスコンクール 応募方法

## ▶応募用紙・応募票

コンクールホームページからダウンロードしてお使いください。

## ▶学校番号

必須になりますので、不明な場合はコンクールホームページで検索いただくか、コンクール事務局にお問い合わせください。

Eメール [gakkon@obunsha.co.jp](mailto:gakkon@obunsha.co.jp)

ホームページ <https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

## 学校でまとめて応募する場合

### 学校応募用紙【必ず作品に同封】作成の注意

「学校応募用紙」は応募票と切り離し、必要事項を明記のうえ、応募作品と一緒に送ってください。  
作品の応募点数が多い部門につきましては、あらかじめ校内選考のうえ、各部門10点以内でご応募ください。  
「校内総応募点数口点中 コンクール応募点数口点」と必ずご記入ください。  
参加賞は校内応募者を含む応募者全員にさしあげます。学校応募用紙は、学校用控えとして必ずコピーをとり、保存しておいてください。

### 応募票【必ず作品に添付】作成の注意

応募票は作品1点ごとに、正副（切離し不可）の両方に同一の必要事項を記入し、作品に添付してください。  
（添付方法は次ページ参照）  
その際、「学校応募」欄に○をしてください。グループ応募の場合、名前欄にはグループ名と制作に携わった人数を（ 名）に記入してください。

## 個人で応募する場合

### 個人応募用紙【必ず作品に同封】作成の注意

「個人応募用紙」は応募票と切り離し、必要事項を明記のうえ、応募作品と一緒に送ってください。

### 応募票【必ず作品に添付】作成の注意

応募票は作品1点ごとに、正副（切離し不可）の両方に同一の必要事項を記入し、作品に添付してください。  
（添付方法は次ページ参照）  
※なお、入賞のご連絡や参加賞のお届けなどは、学校経由としております。  
あらかじめ担当の先生などにお話しておいてください。

## 塾でまとめて応募する場合

### 塾応募用紙【必ず作品に同封】作成の注意

「塾応募用紙」は応募票と切り離し、必要事項を明記のうえ、応募作品と一緒に送ってください。

### 応募票【必ず作品に添付】作成の注意

応募票は作品1点ごとに、正副（切離し不可）の両方に同一の必要事項を記入し、作品に添付してください。  
（添付方法は次ページ参照）  
※なお、入賞のご連絡は学校経由となります。参加賞は塾にお送りいたします。  
あらかじめ担当の先生などにお話しておいてください。



## 応募票を作品に貼り付け

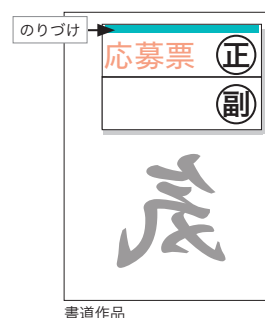
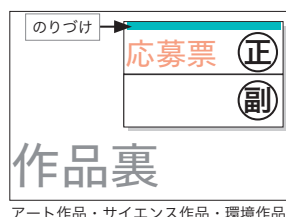
添付する際には、応募票(正)の上部にのりを付けてください。  
応募票(副)にはのり付けしないようお願いいたします。

### ●サイエンス分野

### ●アート分野

### ●環境分野

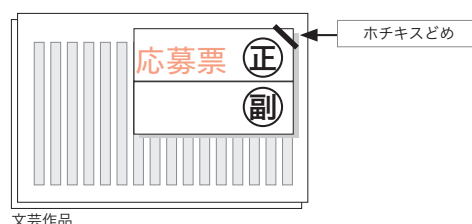
作品のウラに軽くのり付け  
書道部門はウラの右上に軽くのり付け



### ●文芸Ⅰ分野

### ●文芸Ⅱ分野

作品の一枚目右上にホチキスどめ



## 応募用紙と作品を送付 (Eメールでの応募はできません。)

送付用封筒には、「応募対象」(『高校生の部』など)・「応募部門」(『書道部門』など)を赤字で明記してください。

**応募締切 2024年9月24日(火) 当日消印有効**

**応募先** 〒162-8680 東京都新宿区横寺町55  
株式会社 旺文社  
全国学芸サイエンスコンクール事務局  
電話 03-3266-8002

※ Eメールでの応募はできません。(スタートアップ部門を除く)

### 作品返却について

作品返却は原則いたしません。必要に応じてコピーや写真をとっておいてください。ただし、サイエンスジャンル・絵画・ポスター・書道に限っては、希望者に限り返却対応をいたします。

返却にかかる費用は、応募者のご負担となります。※ゆうパック使用予定(着払い)。その他の宅配業者を使用する場合があります。

なお、金銀銅賞受賞作品は、2025年3月7日(金)の表彰式で展示予定です。ご返却を希望された場合は、表彰式後のご返却となりますことをご了承ください。

#### ◆応募作品の著作権について

入賞作品を含むすべての応募作品の著作権は、応募者(作者)に帰属します。  
ただし、応募者は、応募の時点で、主催者(旺文社)が応募作品について作品集、ホームページ、動画集などへの掲載および事業における利用等を含む自由な利用を行うこと、ならびに旺文社の取引先および新聞社等を含む第三者に対し利用させることを許諾するものとします。また、主催者(旺文社)は、上記利用にあたり必要な範囲での改変、翻案および編集等を行うことができるものとします。

#### ◆個人情報の取り扱いについて

応募の際に提供された個人情報は、コンクール運営業務の目的以外では使用されることは一切ありません。  
旺文社の個人情報保護方針については、旺文社ホームページにも掲載しております。



# 第68回全国学芸サイエンスコンクール 選考・審査について

全国から寄せられた応募作品は、2024年10月中旬から各部門ごとに担当の先生方による  
数次にわたる厳正な選考・審査を経て、各部門の入賞候補作品が選出されます。  
2024年12月の最終審査会において金賞・特別賞作品が選出されます。

## サイエンスジャンル最終審査委員〔予定〕

- ◎ 国立研究開発法人科学技術振興機構 野依 良治  
研究開発戦略センター長
- 全国高等学校長協会会長 石崎 規生
- 全国連合小学校長会会長 植村 洋司
- 全国中学校理科教育研究会会長 石代 俊則
- 全国小学校理科研究協議会会長 杉山 勇
- 全国中学校理科教育研究会顧問 田中 史人
- 学校法人 希望が丘学園 学園統括顧問 日置 光久
- 全日本中学校長会事務局長 富士道 正尋

第67回サイエンスジャンル最終審査会



## 学芸ジャンル最終審査委員〔予定〕

- ◎ 日本芸術院長 野村 萬
- 日本書道教育学会会長 石橋 鯉城
- 写真家 大石 芳野
- 文部科学省初等中等教育局 大滝 一登  
視学官
- 東京国立博物館名誉館長 銭谷 眞美
- 元全国造形教育連盟委員長 永関 和雄
- 昭和女子大学名誉教授 西本 鶏介
- 環境省大臣官房総合政策課 東岡 礼治  
環境教育推進室室長
- 美術家 堀 浩哉  
多摩美術大学名誉教授
- 作家 三田 誠広
- 日本現代詩人会理事人 山田 隆昭  
詩人

第67回学芸ジャンル最終審査会



(上記：第67回最終審査委員 50音順・敬称略 ◎は審査委員長)

第67回全国学芸サイエンスコンクール アート分野 **金賞受賞作品**



小学生の部 絵画部門 金賞 「林檎と花瓶」  
東京都 アオバジャパン・インターナショナルスクール 5年 川本 かれん



中学生の部 絵画部門 金賞 **特別賞** 内閣総理大臣賞 「暖かい家」  
福岡県 久留米大学附設中学校 3年 仲井 勝太郎



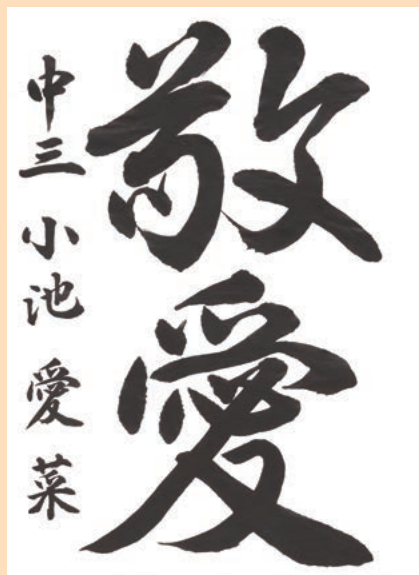
高校生の部 絵画部門 金賞 「七変化」  
岡山県 明誠学院高等学校 2年 大塚 奈夏



高校生の部 書道部門 金賞 **特別賞** 文部科学大臣賞  
「九成宮醴泉銘(欧陽詢)臨」  
山梨県立甲府東高等学校 1年 角田 蘭璃



小学生の部 書道部門 金賞 **特別賞** 日本芸術院長賞 「人權」  
新潟県上越市立柿崎小学校 6年 山賀 心遙



中学生の部 書道部門 金賞 「敬愛」  
広島県広島市立五日市中学校 3年 小池 愛菜



# 第67回全国学芸サイエンスコンクール 環境分野 金賞受賞作品



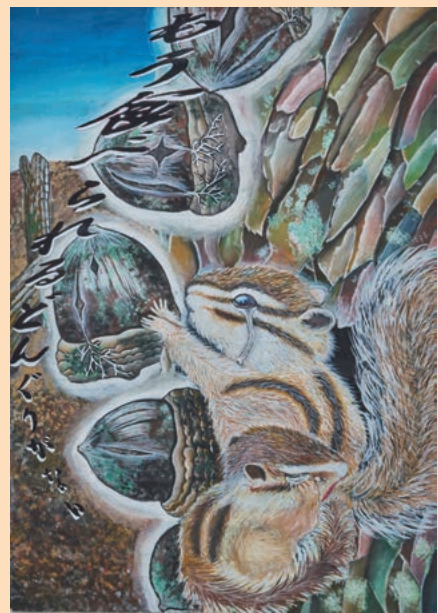
小学生の部 写真部門 金賞 「わっしょい 校舎」  
鳥取県鳥取市立世紀小学校 6年 松本 弥桜



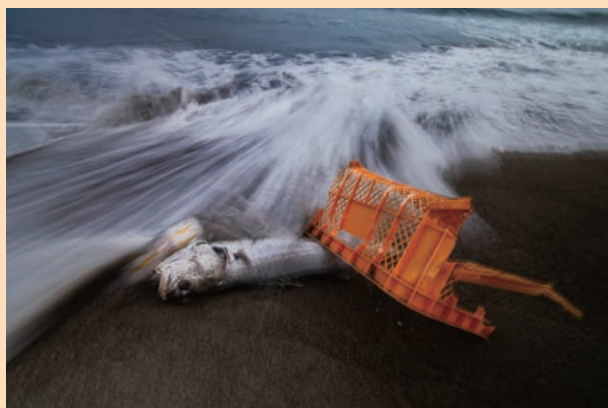
小学生の部 ポスター/デザイン部門 金賞 特別賞 環境大臣賞  
「わたし、きれい？ きれいな海を取りもどそう。」  
京都府京都市立錦林小学校 4年 石橋 芭能



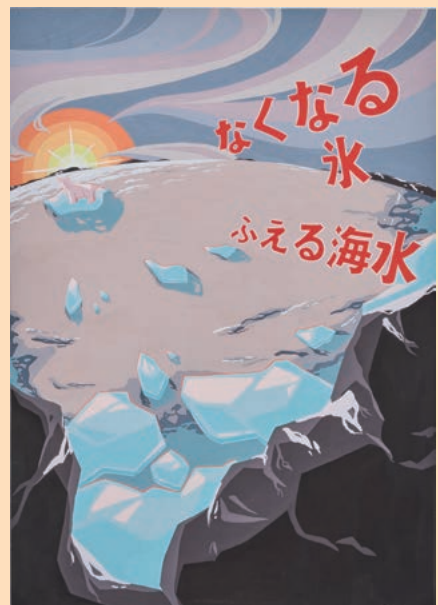
中学生の部 写真部門 金賞 「干上がった塩湖」  
三重県 高田中学校 1年 大槻 悠一郎



中学生の部 ポスター/デザイン部門 金賞  
「もう食べられるどんぐりがない」  
茨城県守谷市立御所ヶ丘中学校 2年 瀬尾 真生



高校生の部 写真部門 金賞 特別賞 共同通信社社長賞 「叫ぶ亡骸」  
宮城県農業高等学校 3年 只野 心優斗



高校生の部 ポスター/デザイン部門 金賞  
「なくなる氷 ぶえる海水」  
兵庫県立龍野北高等学校 3年 関口 優月

## 中学生の部 絵画部門

内閣総理  
大臣賞

### 「暖かい家」

福岡県 久留米大学附設中学校 3年 仲井 勝太郎 さん

この度は栄誉ある賞を賜り誠にありがとうございました。今でも受賞出来たことが実は夢なのではと実感が湧いていない自分がいます。

この制作を始める動機となったのは定期試験中に感じる憂鬱な気持ちです。私の学校では年に5回も定期試験があり、私含め多くの生徒がそれに苦しめられます。そんな心身ともに疲弊する定期試験中の心情をいろんな人知って欲しいという想いから、絵という形で表現することに決めました。制作を始めてから常に悩まされたの

は、「気持ちを絵画としてどう表現するのか」という問いです。感情を形にすることはとても大変でした。しかしひとつひとつ納得いくまで塗り直して表現していくことで、当初私自身も気がついていなかった自分自身の思いまで理解することができました。自分と向き合いたい時、是非気持ちの絵画化をお勧めしたいと思います。

ご指導いただいた國吉房次先生をはじめ、本制作の趣旨を理解し快く協力して頂いた方々に感謝いたします。

## 小学生の部 理科自由研究部門

文部科学  
大臣賞  
サイエンスジャンル

### 「水の飛びちり方を考えてみた!!」

兵庫県 仁川学院小学校 4年 城内 哲 さん

僕の研究が文部科学大臣賞を受賞したと聞いて、僕はとても驚きました。でも、時間とともにだんだんと嬉しさがこみ上げてきました。こんなに素晴らしい賞をいただいて、とても嬉しいです。本当にありがとうございます。

この研究のきっかけは、僕がお手伝いでお皿洗いをしていた時に、飛び散った水が服にかかったことです。僕は、服がぬれない食器の洗い方を考えようと思い、実験装置を作り、色々な食器の水の飛び散り方を観察し、飛び散った水の量を記録しました。実験は失敗ばかりでしたが、諦めずに工夫して実験を続けると、最後には納得のいく実験ができました。僕は、実験は失敗を繰り返し、工夫を重ねてはじめて成功するということを学びました。

考察では、自分なりに水の飛び散り方の理論を4つ考え、実験結果を説明できるか検証しました。しかし、考えれば考えるほど、説明できないことが増えていきました。僕は、自分にはまだまだ分からないことがたくさんあるということを知りました。

炎天下、実験をしたり、データを分析したり、グラフや表を書いたり、文にまとめたり……。今回の自由研究はとても大変でした。でも、たくさん考えることがとても面白く、たくさん疑問が生まれ、とても充実した夏休みだったと感じています。今後は、もっと勉強し、知識を増やして、今の自分には分からない様々な問題にチャレンジしてみたいです。

## 中学生の部 理科自由研究部門

文部科学  
大臣賞  
サイエンスジャンル

### 「地球からプラごみをなくしたい! ~豆乳プラスチックの改良3~」

愛媛県 済美平成中等教育学校 1年 青木 玲依 さん

この度は、文部科学大臣賞という栄えある賞を賜り、誠にありがとうございます。研究に関わり、支えてくださった全ての方々に感謝いたします。

私が研究を始めたきっかけは、小学3年生のときに経験した西表島でのビーチクリーニングやプラごみ調査です。海岸に漂着した大量のプラごみにショックを受けた私は、分解されるプラスチックを作りたいと考えようになりました。1年目は材料の選定、2年目は強度や防水性の向上、3年目は繊維を混ぜ込んで2種類の強度を

測定、そして今年度は、プラスチック板の強度を保ったまま厚みを薄くする研究をしました。4年間で作ったプラスチック板は900枚を超えています。アイデアを出し、仮説を立てて実験を繰り返すのですが、自分が考えた通りにならないことも多いです。試行錯誤する毎日ですが、そこが研究のおもしろさだと感じています。

私の目標は、身の周りにあるプラスチックと同じように使える豆乳プラスチックを作ることです。分解されて土にかえるプラスチックを開発して、地球からプラごみをなくしたいです。

## 高校生の部 自然科学研究部門

文部科学  
大臣賞  
サイエンスジャンル

### 「アリの研究パート9 ~アリの行列はなぜ消えたのか~」

富山県立富山中部高等学校 2年 堀田 千智 さん

私がアリの研究を始めたのは小学1年生のことでした。当初、年に1、2回、家にアリが入ってくることがありました。その入ってきたアリを殺虫剤などで殺して対処するのではなく、家に入らないようにすることを目的とし、主に家の周りにいたアリの行列を使って実験を始めました。ですが、今年いつも行列がいた場所をみると、アリは一匹もいなかったのです。そこで、今までとはガラリとテーマや着目点を変え、何故アリが消えたのかを調べました。その中で、

10年前の自分がやった実験のデータと今のデータを比較するなど、約10年研究をしてきたからこそその良い研究ができたと思います。事前に立てた予想と全く違う結果が出ることもよくあり、そこが、生き物相手の実験の面白い点です。この10年を振り返ると、毎年とても大変でしたが、将来にも通じる力や経験を得られたと思います。

最後に、このような素晴らしい賞を頂き、ありがとうございました。



## 小学生の部 詩部門

文部科学  
大臣賞  
学芸ジャンル

### 「カラフル」

兵庫県 小林聖心女子学院小学校 4年 兵頭 みつきさん

この度は、私の詩を選んでいただき、ありがとうございます。  
私の通う学校は、美しい自然にかこまれていて、色とりどりの季節にみられる様々な色を感じながら、日々をすごしています。  
私は、絵をかくことが好きで、特に自分で色を作ることが好きです。図工の水さい画で通学路のアジサイをかけた時は、青、むらさき、ピンクのふくごつな色を組み合わせる表現しました。また、学校にある竹林のたけのこのデッサンでは、様々な茶色を作り、立体的に仕上げました。

それらの色を作っている時、私は、自然からたくさんの色をもらっていることに気づきました。そのことを伝えたいと考えて、この詩を書きました。そして、私達がたくさん色をもらっている美しい自然をこわさないで大切にしたいという私の思いを詩にこめていきます。

これからも、カラフルで美しい地球がもっと美しくかがやくことを願って、自然の言葉に耳をかたむけたいと思います。

## 中学生の部 小説部門

文部科学  
大臣賞  
学芸ジャンル

### 「点晴と黎明」

福岡県 久留米大学附設中学校 3年 川口 永眞さん

この度は、文部科学大臣賞という名誉ある賞を受賞できたことを本当に嬉しく思います。

私が小説を書いた動機は、幼少期から言語に関する本などを好んで読んでおり、身近な場所に文学があったことです。また、中学生になってから読書の機会が増えたことで、自分の言葉の表現力の限界に挑みたいと思うようになりました。

小説「点晴と黎明」は、私の処女作で、思い入れも強いです。この小説では、思春期が終わりかけている、大人と子供の二つの面を持

つ少年の心情を、色彩を用いて表現しました。主人公の心情を軸として、物語を作りました。

作品を制作するうえで苦労したことは、場面の変化の表現でした。大きな区切りごとに大切な場面の設定や、ごく普通の日常などをなめらかに繋げられるように試行錯誤していました。最終的には満足するものが書けたので良かったです。

改めて、賞を頂けて光栄です。ご指導して下さった中嶋先生、本当にありがとうございました。

## 高校生の部 書道部門

文部科学  
大臣賞  
学芸ジャンル

### 「九成宮醴泉銘(欧陽詢)臨」

山梨県立甲府東高等学校 1年 角田 繭璃さん

この度は文部科学大臣賞という栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。

受賞速報による感動の数日後、「書道」がユネスコ無形文化遺産の提案候補として選定された報道を拝見し再び感動が襲い、誇らしく思いました。この受賞も書道周知のひとつになれば幸いです。

高校生になり、初めて臨書に取り組むにあたり線の美しさに一目惚れした九成宮醴泉銘を選びました。千四百年ほど前、唐の時代に作られた現存する石碑で、昔から多くの人たちが書の手本としてきた作品です。

九成宮醴泉銘は無駄のない線で楷書の極則(理想的な楷書)とされています。特に、切り込むように起筆をいれて反り返るような線を書く横面に特徴があり、睡眠時間を削るほど書と向き合いました。技術を上げる為には努力が必須で、近道は無いと思っています。その努力が報われ、審査委員の先生方に評価して頂けたことが本当に嬉しいです。ご尽力くださいましたコンクール関係者の皆様方に感謝とお礼を申し上げます。

受賞は、先生の丁寧なご指導と家族の支えのおかげです。この感動と感謝の気持ちを忘れず、精進して参ります。

## 高校生の部 ポスター／デザイン部門

環境  
大臣賞

### 「わたし、きれい?きれいな海を取りもどそう。」

京都府京都市立錦林小学校 4年 石橋 芭能さん

学校で環境問題を勉強して人が出す有害なゴミによって海の生態系が崩れていることを知り、ポスターを作るうと思いました。一番初めにタコの目を描きました。目の中にタコが夢見るきれいな海を描きました。空は青空じゃなく濃い色の雲を描き、波も濁った色にしました。タコの悲しさや苦しみがいよ伝わったからです。でも絵の具そのままの色ではないので、毎回同じ色を作るのが大変でした。波は最初黒く縁取りしたのですが、タコはリアルなのに波

がデザインばかり合わなかったで、縁取りをやめ白い泡に変えてみました。そしたらタコの気持ちととも合うような海になりました。沢山のゴミが付いた八本の足の付け根を意識して描かないと不自然になってしまったり、吸盤の並び方を間違えて、描き直したりしました。とても難しかったです。色々工夫して何日もかけて完成したので、受賞して本当に嬉しいです。友達からもたくさんおめでとうと言われ、頑張って描いて良かったと思えました。



# 第68回全国学芸サイエンスコンクール

## 主催

株式会社旺文社

## 後援(予定)

文部科学省  
環境省  
こども家庭庁

## 特別協賛(予定)

株式会社フジテレビジョン  
公益財団法人日本英語検定協会  
大日本印刷株式会社

## 特別協力

全国連合小学校長会  
全日本中学校長会  
全国高等学校長協会  
公益財団法人日本科学技術振興財団  
日本芸術院  
学校法人早稲田大学  
学校法人慶應義塾  
一般社団法人共同通信社  
旺文社ベンチャーズ

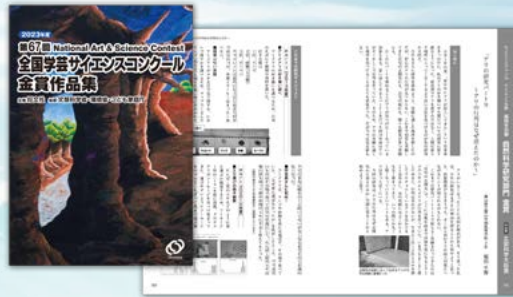
## 協賛(予定)

岩岡印刷株式会社  
株式会社大林組  
旭洋株式会社  
株式会社システムシンク  
新生紙パルプ商事株式会社  
中越パルプ工業株式会社  
日新印刷株式会社  
一般財団法人日本生涯学習総合研究所  
日本製紙株式会社  
北越コーポレーション株式会社  
ロジテムエージェンシー株式会社

株式会社大塚商会  
カシオ計算機株式会社  
三省堂印刷株式会社  
株式会社シロキ  
高尾丸王製紙株式会社  
TOPPANクロレ  
日本紙通商株式会社  
公益財団法人日本書道教育學會  
株式会社パイロットコーポレーション  
株式会社みずほ銀行

## 金賞作品集

金賞作品を収録した作品集をご応募いただいた学校・塾と入賞者の方々にお送りしています。また、表彰式・受賞パーティーにて出席者・ご来賓の方に贈呈しています。



第67回金賞作品集

## ラピス

全国学芸サイエンスコンクール  
公式キャラクター



ラピス®はスペイン語で「えんぴつ」。鼻の部分がえんぴつなんです。現在小学校をはじめ、多数の教育現場で、えんぴつの使用が推奨されています。そんな「ラピス(えんぴつ)」は児童生徒の学びや表現、創造のシンボルともいえます。また、悪夢を食べてくれるといわれる「ばく」もモチーフとなっており、児童生徒に夢と希望を持ち続けて欲しいという願いが込められています。体の緑は「健康」をイメージし、見る人に健やかな印象を与えます。“ラピス”という軽やかな響きも覚えやすく、皆さまに愛されるキャラクターとなることでしょう。ラピスは全国学芸サイエンスコンクールの創造と希望の象徴です。私たちはラピスと共に、夢を実現していく児童生徒を応援します。

〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 株式会社 旺文社 全国学芸サイエンスコンクール事務局

Eメール [gakkon@obunsha.co.jp](mailto:gakkon@obunsha.co.jp) 「スタートアップ部門」を除き、  
Eメールでの作品応募はできません)

電話 03-3266-8002 FAX 03-3266-6849

ホームページ <https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

全国学芸



でも検索可能です。

学校番号の検索や応募用紙のダウンロードができます。



コンクールの  
ホームページは  
こちらから

